



NEWS LETTER MEIKAI

NEWS LETTER

2014.4 Vol.214

明海大学
編集・発行
企画広報課

Contents

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 2014年度入学式 | 5 春季インターンシップ報告 |
| 2 2013年度学位記授与式 | 6 終活シンポジウム |
| 3 第107回歯科医師国家試験結果 | 7 明海スポーツ |
| 4 HT学部 One Day セミナー | 8 2015年度入学試験等日程一覧 |

2014年度入学式 希望を胸に、新たな一歩を踏み出す



新生にエールを送る安井学長

4月3日、浦安キャンパスで2014年度入学式が挙行された。多くの保護者、来賓の方々、本学教職員が見守るなか、学部、大学院、別科の新生の入学が許可され、明海大学での新たなキャンパスライフをスタートさせた。

安井利一学長は入学許可宣言の後、学長告辞で、「本学が建学の精神として掲げている『社会性・創造性・合理性』を身につけ、社会で活躍する人材になってください。大学生活は、個々の能力を伸ばす絶好の機会です。自分自身の成長を楽しみながら、日々勉学やクラブ・サークル活動に励んでください。明海大学は教職員が一丸となって皆さんの夢の実現を全力でサポートします」と述べた。

入学生代表宣誓では中村久子さん

(経済学科)から、「国際的視野を持った、立派な社会人になれるよう

努力します」と力強い言葉があった。

続いて宮田淳理事長は、「先生方から多くのことを学び、一生の師を見つけてください。そして、明海大学という新たな学び舎で、それぞれの夢を実現してほしい」と新生を激励した。

その後、朝日大学の友克之学長、アラバマ大学 バーミングハム校のマイケル・レディー歯学部長(ステファン・カーティス・ミッチェル歯学部准教授代読)の来賓祝辞があり、最後に学歌『よろこび』を斉唱し、式は滞りなく終了した。

新生からは、「海外研修に参加して、語学力を向上させたい」「友人をたくさんつくりたい」「資格を取得して将来に役立てたい」といった前向きな声が多く聞かれた。

明海大学 建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成

社会性：常に変化する社会の中で自ら課題を見つけ、解決する能力

創造性：新たなモノや考え方を生み出し、前に進むとする姿勢

合理性：情報社会の中での確かな判断基準を持ち、自分自身を確立する力

2013年度 学位記授与式

夢を抱き、旅立つ卒業生



謝辞を述べる卒業生代表の山田さん

3月22日、2013年度学位記授与式が浦安キャンパスで行われ、1000人を超える卒業生および修了生が夢に向かって旅立った。

昨年度に引き続き、式の模様をリアルタイムに放映するインターネットライブ配信が行われる中、卒業生らは、晴れやかな表情で式に臨んだ。壇上には宮田脩理事長（現名誉理事長、相談役）、安井利一学長、各学部長・研究科長、別科長、来賓

として朝日大学の友友克之学長と米国UCLAのニール・ガレット副歯学部長らが列席。国歌斉唱に続き、外国語学部日本語学科の卒業生を皮切りに、学位記が順次授与された。学長告辞で安井学長は「現代社会は数多くの困難に直面している。だからこそ、建学の精神で謳われている社会性・創造性・合理性を軸として、社会を支える人となってほしい」と述べた。

引き続きあいさつに立った宮田脩

理事長は、卒業生らが入学した当時から今日までを振り返り、「これからの社会は、さらに速いスピードで変化していく。変化に乗り遅れないように、本学の建学の精神を忘れずに自分自身を特化し、社会で活躍してほしい」と激励した。来賓の朝日大学の友友学長、UCLAのジーン・ブロック学長およびノー・ヒー・パーク歯学部長（ニール・ガレット副歯学部長代読）からの祝辞の後、学業成績

優秀者と学友会・学生会活動に貢献のあった卒業生に贈られる宮田賞の授与が行われた。

その後、卒業生を代表して歯学部の山田隆彦さんが、お世話になった教職員らに感謝の意を込めて「明海大学という恵まれた環境で先生方や友人、両親に支えられながら学ぶことができました。学んだことを糧にして頑張ります」と謝辞を述べ、式は閉式の辞をもって、滞りなく終了した。

謝恩会・卒業パーティー

3月13日、赤坂にあるANAインターコンチネンタルホテル東京で歯学部生の謝恩会が、22日の学位記授与式後には、品川にあるグランドプリンスホテル新高輪で外国語、経済、不動産、ホスピタリティ・ツーリズム学部生の卒業パーティーが行われ、大勢の卒業生および教職員が参加した。

卒業生らは、恩師や学友との別れを惜しみながらも、在学中の思い出話を花を咲かせ、新たな門出を満面

の笑顔で祝福し合うなど、楽しいひとときを過ごした。参加した学生は、

「熱心にサポートしてくださった先生方や、切磋琢磨できる仲間と出会い、充実した学生生活を送ることができた。今後もつながりを

大事にしていきたい」と笑顔で語った。



晴れやかな笑顔の卒業生

第107回歯科医師
国家試験結果

新卒で私大2位の合格率

今年2月に実施された第107回歯科医師国家試験の合格者が厚生労働省から発表された。本学歯学部からは、新卒者と既卒者合わせて135人が受験し、93人が合格した。

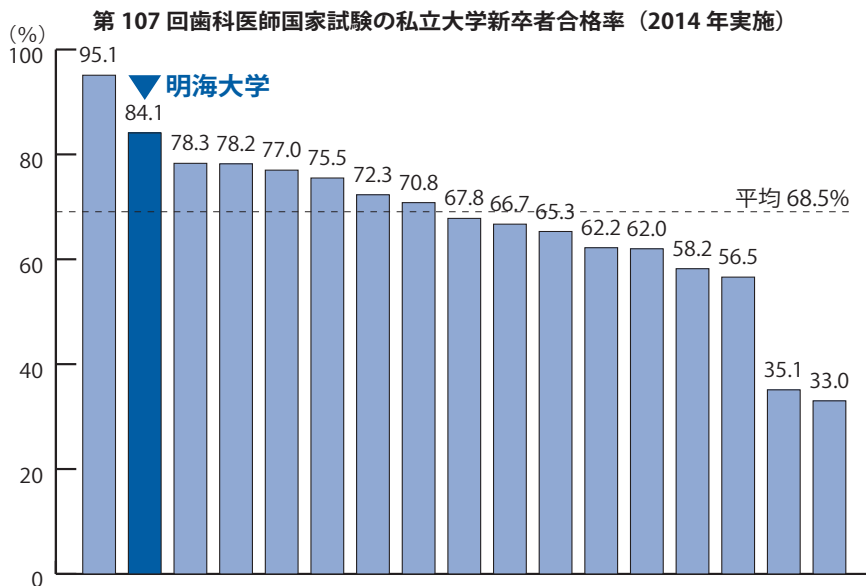
私立歯科大学・歯学部17校中で合格率が全国4位、新卒受験者の合格率は全国2位の好成績となった。

私立歯科大学・歯学部平均合格率は58.6%で、本学の平均は68.9%と、4年連続で上回った。また、合格者の内訳は新卒受験者88人に対して合格者74人で合格率84.1%（私立大学平均68.5%）、既卒受験者47人に対して合格者19人だった。（合格率40.4%）。

中畠裕歯学部長は「受験者総数3200人のうち合格者総数は2025人、特に新卒合格者は1642人であり、昨年と比べて合格者数が約300人削減

されており、ますます選抜試験としての厳しさが激しくなっています。これからもこのような様相は持続すると予想されます。来年に向かって、学生だけでなく歯学部教職員

全員一丸となって、本学の教育の質の保証とともに本年以上の合格率を達成するために努力していきます」と語った。



明海大学歯科総合医育成コース認定制度 開設発表会を開催

3月31日、明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター（新宿区）で、「明海大学歯科総合医育成コース認定医制度」の開設発表会が行われ、報道各社、歯科業界の多くの関係者が出席した。

この制度は、明海大学歯学部生涯研修部が、15年間の歯科医師生涯研修活動の経験と実績をもとに、国民の口腔からの健康を維持・増進することを目的とするもので、今までにない「歯科総合医育成コース認定医制度」である。

安井利一学長は冒頭、開設趣旨について説明し、「研修においては、目標を設定してステップアップを図ることが大切である。そのために3段階の目標と学修プログラムを設け、評価を担保するために第三者評

価を経て3段階の称号を付与することとした。“オールラウンドのメニュー” “ステップアップ” “称号”の3点を組み合わせることにより、我が国の生涯研修に方向性を出せると考えている。大学は評価する立場ではなく、それらを行う場を提供し、サポートする役割を担うものとし、歯科医療がより国民に認知されるための生涯研修のシステム構築を目指していく」と語った。続いて、河津寛明海大学歯学部生涯研修部長・臨床

教授による歯科医師生涯研修活動報告、上演正明海大学歯学部生涯研修副部長・臨床教授からの歯科総合医育成コース認定医制度の説明、そして、鈴木尚臨床教授による歯科総合医育成コース単位認定委員会の説明が行われた。

出席者は、新しい認定医制度や研修カリキュラムの説明などについて、熱心に耳を傾けていた。



開設趣旨について説明する安井学長

ホスピタリティ・ツーリズム学部
One Dayセミナー

参加型プログラムで学部の魅力を体験

3月26日、ホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部のOne Dayセミナーが、浦安キャンパスで開催された。これは、学部の特色を活かしたさまざまな体験・参加型プログラムを通じて学部の魅力や学びの楽しさを知り、興味を深めてもらうことを目的に行っている。オープンキャンパスとは異なり少人数定員制のため、在学生や教員としっかりコミュニケーションがとれることも魅力のひとつ。今回は、当初の定員を上回るほどの参加予約があり、山形県や新潟県、三重県、熊本県などの遠方からの参加者も多く訪れるなど、大盛況となった。

当日は、業界研究（エアライン&ト



ラベル)の講義や、マナー講座、知識を実社会で活かす体験としてファウンテンテラスホテル（東京ディズニー

リゾート・パートナーホテル）見学を実施し、最後はグループ学習で1日のまとめを行った。

高校生は少人数のグループに分かれて行動し、各グループにはHT学部在学生が同行。はじめは緊張した

マナー講座でのお辞儀の練習の様子が見られたものの、体験型プログラムなどを通じて次第に打ち解け、昼食時には参加者同士で楽しそうに会話をする様子や、在学生にキャンパスライフについて積極的に質問をする姿が見られた。

参加した高校生からは、「学部の雰囲気や大学での授業の様子を知ることができた」「とても貴重な体験ができ、今後の進路の参考にしたい」「目標にしたいと思える先輩たちや、同じ進路を目指す友達と出会うことができ、目的意識が高まった」といった声が聞かれた。また、同行した保護者からは「在学生が頼もしく見え、自分の子どもを入学させたいと思った」などの感想があり、大変好評だった。



グループ学習で高校生にアドバイスをする在学生

就職実績

ホスピタリティ・ツーリズム学部
第6回生（2014年3月卒業）

95%
(就職希望者に対する就職率)

■主要就職先（2014年3月卒業生）

グランドハイアット 東京、シャングリ・ラ ホテル 東京、プリンスホテル、東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート、浦安ブライトンホテル、ホテルオークラマカオ、ANA、ANAエアポートサービス、ANA成田エアポートサービス、JAL、JALスカイ、カタール航空、JR東日本、JTBグループ6社、エイチ・アイ・エスなど多数

春季インターンシップ報告

社会や企業に対する視野を広げ、将来のキャリア形成への意識を高めるために今や必須のインターンシップ。本学では、就職前の就業体験で希望進路に近づけるようインターンシップを推奨しており、その派遣先は東京ベイエリアのホテルや商社、市役所など、バラエティー豊か。春季インターンシップに参加した学生から感想を聞いた。

将来への視野を広げる きっかけに

村越 崇（経済学科3年）

浦安ブライトンホテル

今回、初めてインターンシップに参加し、社会人の一員としてホテル業界について学ぶことができました。インターンシップが始まるまでは、緊張と不安でいっぱいでしたが、きちんとした態度で業務に取り組むことで、次第に良い緊張感へと変わっていきました。就職活動を間

人との出会いを通して学んだ 10日間

荒井 柚美（日本語学科3年）

浦安市役所

観光案内や婚活、職業相談などを行う市民経済部商工観光課で、インターンシップをさせていただきました。最初は分からないことばかりでしたが、職員の方々から親切に指導していただき、知識を増やしながら充実した日々を過ごすことができました。



荒井 柚美さん

近に控え、将来何をしたいのか自分の中で明確ではない状態でしたが、今回の経験でホテル業界についての理解が深まり、さらに知識を増やしたいと思いました。また、視野が広がったことで、ほかの業界についても興味を持つ、良いきっかけになりました。



村越 崇さん

春季インターンシップ派遣先

帝国ホテル東京、ホテルオークラ東京、サンルートプラザ東京、ホテルラフォーレ修善寺、南三陸ホテル観洋、浦安市役所、千葉マツダ、日神不動産、日本ハウズイング、フォトワークス など

浦安キャンパス施設リニューアル! 快適な学習環境へ

学生が快適で充実したキャンパスライフを送れる環境整備に努めてい



新しくなったサウス学生ホール

る明海大学では、これまでに施設・設備のリニューアルを定期的に行ってきた。そして今年3月、浦安キャンパスの講義棟1階サウス学生ホール、2101・2103大講義室がリニューアルされた。

学生ホールに

は新たにテーブルと椅子を配置し、学生同士の交流の場としてだけでなく、学習スペースとしても活用される場に生まれ変わった。

さらに、床の張り替えや柱の塗装、TVモニターの設置なども行われ、学生からは「明るくなり、居心地が良くなった」といった好評の声が多く聞かれる。

大講義室は、これまでの扇形に広がる階段教室という様式はそのままに、机・椅子のリニューアル、床の張り替え、AV機器の改修などが行われた。

ホスピタリティ・ツーリズム学部主催
終活シンポジウム

今をより良く、自分らしく生きるために

3月15日、浦安キャンパスで、無縁社会や孤独死などが深刻な社会問題となる現在の日本で、より良く自分らしく生きることをテーマとした終活シンポジウム（ホスピタリティ・ツーリズム学部主催）が開催され、約350人の受講者が会場に詰めかけた。

基調講演「現代社会における真の終活の必要性について」では、ホスピ

タリティ・ツーリズム学部の内苑孝美教授が自身の経験を交えながら終活の定義を解説。終活は、葬儀や遺言といった「現実的活動」と、趣味や家族の絆などの「人生を充実させる活動」といった二つの側面があると説いた。

続いて、浄土宗住職の戸松義晴氏、戦場カメラマンの渡部陽一氏、一般

社団法人終活カウンセラー協会代表理事の武藤頼胡氏を交えて「終活は本当に必要か」をテーマとしたパネルディスカッションが行われた。戸松氏は「死の準備だけでなく、死を通してどう生きていくか。ポジティブな最期のためには肉体と精神、両方のバランスが大事」と語り、受講者に「終活をしている人は？」と質問を投げかけた上で、「どうして終活をしているのか、その理由を見つめ直してほしい」と結んだ。

受講者からは「大変興味深い講座内容で有意義な時間を過ごすことができました」「終活が“死”への準備ではなく“自分らしく生きる活動”という説明がとても印象的でした」などの感想が寄せられ、シンポジウムは大盛況のうちに終了した。

活況を呈したシンポジウム



活況を呈したシンポジウム

学修の基礎 I 学長講話

夢の実現に向けて

浦安キャンパスの1年次必修科目である「学修の基礎 I（スタディプロモーション）」の初回授業で、安井利一学長が「大学からのメッセージ」と題し、新入生全員を対象に講話を行った。安井学長は、建学の精神につい

【学修の基礎 I】

明海大生として満足度の高い4年間を過ごすために、大学についてよく知り、興味関心を持ち、モチベーションを高めることを目的とする授業。グループワークやプレゼンテーションなどを通じて、フレンドシップの形成やコミュニケーション能力の向上を図る。

て説明した上で、「まず皆さんには夢を持ってほしい。夢というゴールに対し、今まさにスタートラインに立っています。夢を実現させるにはこの4年間で勝負のときなので、積極的に行動し、自分を変えていく喜びを実感してもらいた

い。明海大学は皆さんの夢の実現を全力でサポートするので、さまざまなことにチャレンジし、4年後には国際未来社会で活躍できる人材にな



講話する安井学長

っていることを確信している。ぜひ、充実した楽しい学生生活を送ってください」と学生たちに熱いメッセージを贈った。

明海スポーツ

新たな目標に向かって始動！

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会発足から8年目を迎える体育会。有望な新入部員の加入によって装いを新たにし、それぞれの部が大きな目標に向けて始動した。サッカー部、ヨット部、空手道部、女子硬式庭球部の監督に今年度の抱負を聞いた。

体育会空手道部

上妻優介監督

昨年度、第49回東日本大学空手道選手権大会では男子団体組手第3位、第57回全日本学生空手道選手権大会では男子個人組手第3位という大きな結果を残すことができた。これらの結果は創部以来の快挙であり、着実に実力をつけてきていることが試合の結果として表れている。今年度はさらに上を目指すという目標を各選手がしっかり持ち、休まず毎日稽古に励めば自ずと勝つことができると確信する。

また、第9回FISU世界大学空手道選手権大会75kg級の最終選考会まで歩を進めた遠山大輔選手（経済学科3年）のように、今後は国際的に活躍する選手を多く輩出したい。

体育会ヨット部

國府田由隆監督

昨年度、第78回全日本学生ヨット選手権大会（以下、全日本）において総合準優勝という輝かしい結果を出すことができた。今年度は全日本総合優勝という目標に向けて、一層強化を進めていくことになる。

選手たちにはさらなる体力増強と体重増加を図り、万全のコンディションで全日本に挑んでもらいたい。また、2020年東京オリンピック開催が決定したことから、本学の建学の精神である「国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす」を体現すべく、日本代表選手として活躍する選手の育成を積極的に図っていききたい。



体育会空手道部



体育会ヨット部



体育会女子硬式庭球部



体育会サッカー部

体育会サッカー部

八津川義廣監督

今年のテーマは「リベンジ」だ。昨年度、関東大学サッカーリーグ2部昇格決定戦では、PK戦の末惜しくも敗退してしまった。今年度の関東大学サッカー大会は千葉県で開催されるので、もう一度昇格決定戦の舞台に立ち、今年度こそ念願の関東2部昇格を果たしたい。そのためには今まで以上の努力が必要となる。まずはチームとしての土台であるコンセプトを100%徹底させることが一番重要である。その上で、選手たちの個性を活かしたプレーができるのが理

想。日々の積み重ねである過程を大切にし、地道な努力を怠らずに目標達成に向けて突き進んでいきたい。

体育会女子硬式庭球部

畠中君代監督

4月から女子硬式庭球部の監督に就任したので、まずは部員を増やし、部としての土台を築いていきたい。選手たちには、技術的なことも大切だが挨拶や礼儀、感謝の心を持つことを伝え、スポーツを通して社会に貢献できる4年間を過ごしてほしい。将来的には関東大学テニスリーグで、1部リーグ昇格を目標に指導していききたい。

2015年度入学試験等日程一覧

■外国語学部／経済学部／不動産学部／ホスピタリティ・ツーリズム学部

●お問い合わせ先 浦安キャンパス入試事務室 TEL：047-355-5116

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日	
アドミッション・オフィス(AO)	9月期	9月1日(月)～9月12日(金)	9月20日(土)	9月24日(水)
	10月期	9月29日(月)～10月10日(金)	10月18日(土)	10月22日(水)
	11月期	11月4日(火)～11月14日(金)	11月22日(土)	11月26日(水)
	12月期	11月25日(火)～12月5日(金)	12月13日(土)	12月17日(水)
スポーツ・文化活動	3月期	3月6日(金)～3月12日(木)	3月17日(火)	3月18日(水)
	A日程	9月1日(月)～9月12日(金)	9月21日(日)	9月24日(水)
	B日程	11月4日(火)～11月14日(金)	11月23日(日・祝)	11月26日(水)
指定校推薦	C日程	2月2日(月)～2月13日(金)	2月22日(日)	2月26日(木)
	—	—	—	—
	—	—	—	—
全国商業高等学校長協会推薦	—	10月20日(月)～10月31日(金)	11月8日(土)	11月13日(木)
公募制推薦	—	—	—	—
企業推薦	A日程	10月30日(木)～11月12日(水)	11月23日(日・祝)	11月26日(水)
	B日程	2月19日(木)～3月4日(水)	3月17日(火)	3月18日(水)
一般	A方式	1月9日(金)～1月23日(金)	2月1日(日)～3日(火)	2月7日(土)
	B方式	2月9日(月)～2月20日(金)	3月1日(日)、2日(月)	3月6日(金)
大学入試センター試験利用	A方式	1月9日(金)～1月27日(火)	1月17日(土)、18日(日) (大学入試センター試験)	2月7日(土)
	B方式	2月9日(月)～2月23日(月)		3月6日(金)
	C方式	3月2日(月)～3月12日(木)		3月18日(水)
外国人留学生	A方式	9月16日(火)～9月26日(金)	10月11日(土)	10月16日(木)
	B方式	11月10日(月)～11月21日(金)	12月6日(土)	12月11日(木)
	C方式	1月26日(月)～2月6日(金)	2月21日(土)	2月26日(木)
生涯学習型社会人編入学	—	11月4日(火)～11月10日(月)	11月22日(土)	11月26日(水)

歯学部

●お問い合わせ先 坂戸キャンパス入試事務室 TEL：049-279-2852

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日	
アドミッション・オフィス(AO)	9月期	8月25日(月)～9月3日(水)	9月6日(土)	9月11日(木)
	12月期	11月25日(火)～12月3日(水)	12月6日(土)	12月11日(木)
	3月期	3月12日(木)～3月18日(水)	3月24日(火)	3月26日(木)
指定校推薦	—	10月27日(月)～11月5日(水)	11月8日(土)	11月11日(火)
一般	A日程	決定次第、本学公式ホームページにおいて公表します。		
	B日程	2月16日(月)～2月24日(火)	3月1日(日)	3月3日(火)
	A日程	決定次第、本学公式ホームページにおいて公表します。		
大学入試センター試験利用	B日程	2月16日(月)～2月24日(火)	1月17日(土)、18日(日) (大学入試センター試験)	3月3日(火)
	C日程	3月12日(木)～3月18日(水)	3月1日(日)※面接	3月26日(木)
			1月17日(土)、18日(日) (大学入試センター試験)	
			3月24日(火)※面接	

Open Campus 2014

各日程の特別プログラム等は本学公式HPをご覧ください。

<http://www.meikai.ac.jp>

浦安キャンパス 10:30～15:00

外国語／経済／不動産／ホスピタリティ・ツーリズム学部

6月1日(日)、7月20日(日)、8月2日(土)、

8月23日(土)、9月28日(日)、10月26日(日)

お問い合わせ／企画広報課 TEL 047-355-1101

坂戸キャンパス 10:30～16:00

歯学部

※10月はけやき祭同時開催

5月25日(日)、6月22日(日)、7月20日(日)、

8月24日(日)、10月11日(土)、10月12日(日)

お問い合わせ／歯学部入試事務室 TEL 049-279-2852